

小名浜の現状

礼拝堂、幼稚園の建物に大きな被害はなく、電気水道ガス（プロパン）は復旧
プロパンは定期的に供給されている。
暖房は灯油を費用、ただし今のところ一週間位の備蓄がある。

現在超教派（主に福音系のプロテスタント）からの支援中心

近隣で中小の病院福祉施設への物資支援（約 400 人）。行政等から見捨てられていたところを中心に。

一般の方々への支援はまだ行っていない。（行いたいという思いはあるが、現時点ではいろいろなことを考え見合わせている）

いわき市、小名浜の町には、物資がなく、商店は閉まっている。ガソリンも 3 時間待ち。
多くの方は満足に食べてはいない。配給物も少ない。
クロネコヤマトは宅配サービスを始めたようだ。
佐川急便は、まだ配達局止めのまま。

現在教会には様々な支援物資が届いているが、組織的に系統だって必要なものが送られているわけではない。また、必要な物も刻々変化している。（それをカバーするためブログを立ち上げている）

送ってくださっている福音系の教会は単立が多く、いつまでも物資支援を続けることは困難。組織的な幅広い支援体制への移行が必要（聖公会やカトリック教会のような組織力を持った教会のサポートが期待されている）

聖テモテ教会は物資の集結地および施設への配布を行っている（現在は施設から教会に取りに来られる方法で配布）。物資の管理は牧師婦人と幼稚園の教員が行っているが、疲れがたまっている。休息できるように、スタッフの充填や、長期的にサポートする体制や専従スタッフが必要だろう。また、越山司祭はこの 3 月まで病気で入院、退院後すぐに被災された。先生の人脈により支援活動がなされているところがあるから、先生は大切なキーパーソンだ。しかしかなり疲労が溜まっていると思われる。

なお、超教派連合ゆえ、幾人かリーダーシップを発揮している人材がいるそうだが、今日は会うことができなかった。

なお、津波被害の場所は明日朝出かけることになった。

蛇足ながら、東北道など一般車の通行が OK にはなったが、逆に SA のガソリンステーションは大混雑。時間の余裕を持って行動する必要がある。